



ここへ集まることで、元気になれる。

「仁井田みらい会議」は、「地域の台所部会」、「交流部会」、「農業支援部会」、「地域のサポート部会」、「観光・開発部会」の5つの部会で構成されています。

このうち「地域の台所部会」では、地元の食材を使ったお弁当や惣菜の販売、ランチバイキングなどの活動を行っています。2月3日の節分のときには、毎年恒例となった「恵方巻」を作られていました。地域の方々からの注文のほか、町内の事業所からの注文も多い中、手慣れた作業とチームワークの良さで、次々と美味しそうな恵方巻が完成。メンバーの方からは、「ここへ集まると気が晴れて元気になる」といった声も。苦労話や世間話にも花が咲いていました。みんなで集まり一つのことに取り組む時間は、自然と元気が生まれる時間になっています。そして、メンバーのみなさんの元気が活動のエネルギーとなり、さまざまな場面を通じて、地域の方々の元気へとつながっています。

活動資金は自分たちで捻出 「楽しむ」を大切に活動を展開

りん家でのイベントや 活動の様子を発信中！



仁井田のりん家では、地域の皆さんにイベント情報や活動の様子をお届けするため、毎月「仁井田のりん家ニュース」を作成し、配布しています。

SNSでも
発信中！



フェイスブック



インスタグラム

りん家のモーニングで好評を得ている仁井田米を使った米粉パン。昨年にはその米粉パンを作る「パン作り教室」が開かれました。地域の小学生も参加し、とても好評だったそうです。地域の大人も子どもたちも集まって楽しむことができる、そうした交流の場所にもなっています。



地元で採れたブルーベリー
を使って作られたジャム

地元の資源を活用した更なる地域の活性化と収入源を確保していくため、令和3年度には新たに「観光・開発部会」を創設。活動を「楽しむ」ことを大切にしながらも、自分たちで活動資金を捻出し、地域貢献へつなげています。

特集

元気を生み出す地域のチカラ

集落活動センターの取り組み

集落活動センターとは、地域の皆さんが中心となり、旧小学校や集会所などを拠点に、それぞれの地域に合った形で、生活、福祉、産業、防災といったさまざまな活動に総合的に取り組む仕組みです。今月の特集では、四万十町にある集落活動センター、「仁井田のりん家」、「けやき」、「こだま」の取り組みを紹介します。



仁井田のりん家
地域の台所部会のみなさん

※撮影時のみ、マスクを外しています。

仁井田のりん家

運営主体

仁井田みらい会議

〔電話番号〕 ☎ 22-8230

仁井田のりん家は、旧影野保育所を活用し、平成28年3月に開所。住民有志で構成されている「仁井田みらい会議」によって運営されています。地域の方々が気軽に楽しく集うことができるよう、サロンや各種教室を開催。また、お弁当や惣菜の販売、農業のコンテンツを活用した事業など、試行錯誤を繰り返しながら幅広い活動を行っています。